学校番号	104

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	フォトグラフィア地理図説 2026　（東京法令出版） 地理統計要覧 2026 年版　　（山川出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・問題演習を通してこれまで学習してきた内容についての理解を深めていきます。
・正確に実情を掴むために多くの統計資料を活用し，地理的考察力を伸ばしていきます。
・高度に情報化の進んだグローバルな社会，そして地球温暖化など世界的な課題を抱えた時代を生きていくために，世界各地の特徴や状況をより正確に把握する能力を身につけていきます。
・地理的な探究活動の多くに，必ず明確なゴールがあるとは限りませんが，その問いかけに対して，性急で安直な正解を探すのではなく，自分事として思考することを大切にしてください。

2　学習の到達目標

・社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする思考力を養う。
・現代世界の諸地域を，歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会で主体的に生きるための自覚と資質を養う。
・平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地理に関わる諸事象に関して，世界の空間的な諸事象の規則性，傾向性や，世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解する。 地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，系統地理的，地誌的に，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	地形	1 世界の地形と地形をつくる力 2 プレートの運動が地形におよぼす影響 3 地震と火山 4 さまざまな地形	a：地形に関わる諸事象の規則性，傾向性や，人間による利用などについて理解することができる。 b：地形の分布や成因などに注目して，「平野の地形」などの主題を基に，「平野の地形はどのように利用されてきたのだろうか」などを多面的・多角的に考察し，表現することができる。 c：地形とその利用について，よりよい社会の実現を視野に，そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	課題	課題	課題
	気候	1 大気の大循環と気候 2 気候の地域性 3 植生と土壌 4 世界の気候区分 5 それぞれの気候帯の自然と生活	a：気候と生態系に関わる諸事象の規則性，傾向性や，気候の地域性などについて理解することができる。 b：大気大循環のしくみや影響などに注目して，「気候の地域性」などの主題を基に，「地域による気候の違いにはどのような背景があるのだろうか」などを多面的・多角的に考察し，表現することができる。 c：気候の変化と生態系の維持について，よりよい社会の実現を視野に，そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	考査	考査 課題	課題
	農林水産業	1 農業の諸条件 2 社会の発展と農業の変化 新しい視点 都市とその周辺で営まれる農業 3 グローバル化・技術革新と農業 4 林業 5 水産業 6 食料問題	a：農林水産業に関わる諸事象の規則性，傾向性や，食料問題の現状や要因，解決に向けた取組などについて理解することができる。 b：農林水産業の条件や変化などに注目して，「食料問題」などの主題を基に，「世界の栄養不足人口の分布に地域的な偏りがあるのはなぜだろうか」などを多面的・多角的に考察し，表現することができる。 c：農林水産業の変化について，よりよい社会の実現を視野に，そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	考査	考査 課題	課題

	資源・エネルギーと工業	1 世界の鉱産資源 2 世界のエネルギー資源とその課題 3 工業の立地 4 工業地域の形成と変化 5 自動車工業の特徴と日本の海外生産	a: 諸事象の規則性，傾向性や，資源・エネルギー問題や工業生産のグローバル化の現状や要因，解決に向けた取組などについて理解することができる。 b: 資源産地の分布や消費地との結びつきなどに注目して，工業立地や変化を踏まえて，どのような地域的な特徴と地域的結びつきがみられるか」などを多面的・多角的に考察し，表現することができる。 c: よりよい社会の実現を視野に，そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	考査	考査 課題	課題
2		1 交通・通信 2 貿易・観光 3 人口 4 村落・都市	a: 諸事象の空間的な規則性，傾向性や，それぞれの現状や要因，解決に向けた取組などについて理解することができる。 地図や GIS などを用いて，様々な情報を適切かつ効果的に調べ，まとめることができる。 b: それぞれの主題に対して，背景にあるものや共通性や異質性などを多面的・多角的に考察し，表現することができる。 c: それぞれの分野に関して，よりよい社会の実現を視野に，そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	課題	課題 考査	課題
	地誌	東アジア ASEAN 諸国 南アジア イスラーム圏 アフリカ EU 諸国 ロシア アメリカ・カナダ ラテンアメリカ オセアニア	a: 図版や写真から多民族社会を構成する地域的な特徴を捉え，生活文化との対応や経済の変化を整理できる。 世界各地域の多様な民族が暮らす国々が統合を進めていった背景や課題について理解できる。 b: 写真に見られる共通性と異質性をまとめたうえで，写真と地図を組み合わせて考察し，世界各地域の生活文化を説明できる。 紛争の背景としての民族や宗教・宗派の違いについて考察できる。 c: 自然環境と生活文化の相互の関連を捉え，開発の背景について意欲的に探究できる。 都市問題や経済問題，環境問題などについて意欲的に調べ，その要因と解決について協議できる。	考査	考査 課題	課題

3	問題演習	総合問題演習	a:各単元における基本的事柄を理解し,事象を表現・処理することができる。 b:各単元における地理的な見方や考え方を身に付けている。 c:地理的な諸現象に関心をもち,その有用性を認識している。現代社会の諸問題について考察を深め,評価・改善しようとする。	問題演習	論述課題	振り返りプリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度